

大会運営についてのお願い ～インテグリティを求めて～

札幌地区バスケットボール協会 U15 部会

※インテグリティとは…「誠実」「真摯」「高潔」などの概念を表す言葉



【はじめに】

新型コロナウイルス感染症による大会運営から、少しずつ緩和され、観戦をしていただけるようになり、会場の盛り上がりを取り戻し始めてきました。バスケットボール W 杯からも多くの感動をもらい、これからよりバスケットボールへの注目度が増すことと思います。一方で選手や観戦者の自由度が上がる中、大会の臨み方についても考えていかななくてはならないことも増えているのも事実です。上記にもありますが、日本の様々な講習会の中で「インテグリティの遵守」が求められるようになっております。バスケットボールのゲームを見ている人たちが、そしてその周囲の人たちがより楽しんでもらえるようなバスケットボールを作っていくことが必要になります。私たち指導者自身も努力していくことはもちろんですが、ぜひ、選手、保護者の皆様にもご一読いただき、今後につなげていただければと思います。

【指導者の皆様】

様々な場面でインテグリティについてのお話があると思いますが、以下のことを今後も意識して取り組んでまいりましょう。

～自分たちの当たり前を見直しましょう～

バスケットボール界の当たり前はその他の世界では当たり前ではないことも多くあります。もちろんバスケットボール界の素晴らしい部分はありますが、自分自身の振る舞いも含め、今一度見られている意識を心がけましょう。

～自己研鑽を積んでいきましょう～

グッドゲームを作っていくためには、バスケットボールに対して真摯な向き合い方をしていく必要があります。選手に対してのリスペクト、バスケットボールに対してのリスペクト、運営や審判へのリスペクトの姿勢と、謙虚に向上心を高めていくことが大会の質を高めていくことになります。ぜひ、自己の研鑽を積んでいくことで、様々な質を高めていただければと思います。

～外に向けたビジョンをもちましょう～

JBA では「バスケットで日本を元気に」のスローガンのもと、日本全体を元気にしていくために様々な視点で活動を行っています。自分のチームだけ、自分たちバスケットボール界だけが良ければ良いという視点ではなく、我々指導者が広い視野のもと、今できることを精一杯取り組んでいくことが、大切なのではないのでしょうか。

【選手の皆様】

様々な制限下の中、今までゲームを満足にできない時期もありました。今思い切り練習やゲームができていることに大変喜ばしく思います。しかし、今一度大会を行うことが当たり前のことではないこと、多くの支えがあってゲームや大会が成り立っていることを考えましょう。残念ながら、大会の中でのマナーや控室の物の破損などを耳にすることが多くあります。

ゲームの主役は選手自身です。だからこそ仲間、相手選手、審判、TO そして応援して下さる方々に敬意をはらった、行動言動が大切です。見ている人がワクワク、そして元気になれるようなゲームを心がけましょう。選手自身もぜひ「インテグリティ」について考え、実践していくことが、重要なのではないかと考えます。

そして自分たちが精一杯、日頃の成果を出し合い、本当の意味でのグッドゲームを目指し、応援されるチームを目指しましょう。

【観戦者の皆様】

観戦がフリーになり、皆様の応援により、一層エキサイティングなゲームが展開されています。この場をお借りして心より感謝申し上げます。多くの方に観戦していただき、皆様が元気にそして、選手の皆さんがよりモチベーション高く、バスケットボールに臨むことを今後も期待しています。

一方で、多くの方が観戦に来ていただける中で、会場使用上のマナーについて問題になることがあり、会場校として運営に苦慮しているケースがございます。

試合観戦の中でも、審判や選手に対して文句を言うようなケースがあるのも事実です。バスケットボールはレフェリングが最も難しいと呼ばれているスポーツの一つです。一つのジャッジやプレーで試合が決まってしまうことは重々承知しておりますが、勝敗に関係なくグッドゲームを皆様と一緒に作り上げていきたいと願っております。温かく見守っていただきながら、観戦者の「インテグリティ」について一考していただければ幸いです。

【最後に】

この場をお借りして、お願いをさせていただくことを恐縮に思いながら、ご容赦いただければと思います。ここ数年、大会の形が変わっていく中で、運営をしていくことも一苦勞の状況が続いております。多くの方々、会場校の先生方にご協力をしていただいてなんとか進めている状況です。

U15 部会としては、プレイヤーズファーストで動いております。それは現在もですが、未来に向けて、バスケットボールを通して、より良い成長をしてほしいという考えが原点です。「バスケットボールで元気に、輝かしい未来に向かって歩んでほしい」という姿勢を周りの大人がもって、それぞれの立場でできるプレイヤーズファーストに向けた行動を実践できればと願っております。

選手の皆さんも、自分のことだけを考えるのではなく、様々なことをあらゆる視点から考え、大好きなバスケットボールを通じて自己の責任や感謝する気持ちなどを今一度考えながら、取り組むことを期待しています。

どの立場の方々もお互いに歩み寄りながら、バスケットボールのインテグリティを意識していくことが今後のバスケットボール界がさらに発展することに繋がると信じています。

今後とも、ご支援、ご協力よろしく願いいたします。

